

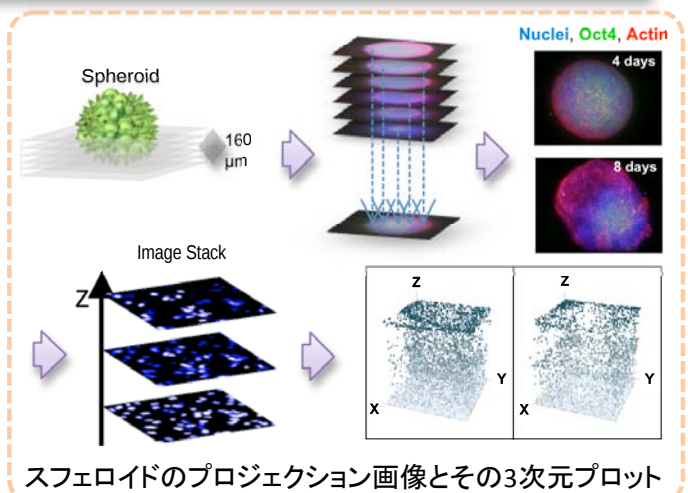
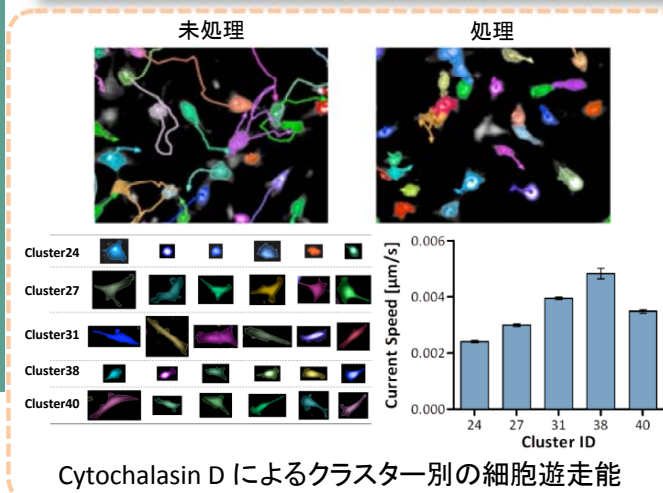
マルチパラメータ解析が切り拓く 新しい細胞生物学へのアプローチ

日 時： 平成27年3月17日(火) 16:00～17:00

会 場： 分子・構造解析施設セミナー室(共同利用棟2階)

細胞の顕微鏡画像には、実に様々な情報が含まれています。これらの情報を抽出し、細胞と細胞集団の働きについてより深い洞察を得ることができるマルチパラメータ解析は、これからの細胞解析手法として注目されています。イメージングサイトメーターは、多様なサンプルの蛍光又は明視野画像シグナルを用いて、蛋白質の細胞内分布や細胞内小器官の動態、細胞上のパターン変化などを網羅的に定量化するシステムです。特に従来の生化学的なアッセイではできなかった、ライブセルの経時変化を単一細胞レベルで追跡することや、3次元的な変化をマルチパラメータで評価することも可能です。

本セミナーでは、速度・感度・使いやすさを極めた共焦点定量イメージングサイトメーターの新製品 Opera Phenix の活用方法を中心に、最新の解析手法、アプリケーション例を紹介します。



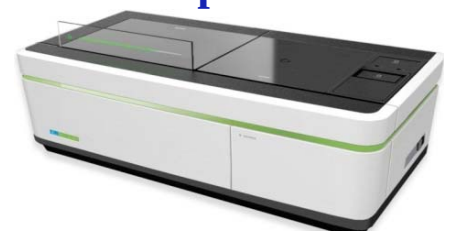
•Opera Phenix

スピニングディスクによる共焦点光学系および水浸レンズが生み出す高解像度のイメージにより、これまでの固定細胞を使ったアッセイのほかにも、ライブセルイメージングや 3D 微小組織など、より生体に近いサンプルを使ったイメージングを可能にします。

•解析アプリケーション

タンパク質の発現・形態・局在解析、3次元解析、神経伸長、細胞周期、アポトーシス、細胞浸潤解析、細胞遊走能など

High Content Imaging System Opera Phenix



問合せ先：(参加申込みは不要です。)

担当：五味知治

内線：7175, 7176 電子メール：sic@cts.u-toyama.ac.jp